

マイ・タイムラインを活用した防災教育に係る小学生用教材制作業務
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和6年12月11日 13時30分から15時30分まで
2	場 所	県庁北館4階 オペレーションルーム（防災会議室）
3	出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理監危機管理部長（委員長） ・危機管理監危機管理課長 ・危機管理監みんなで減災推進課長 ・危機管理監消防保安課長 ・教育委員会事務局学びの変革推進部義務教育指導課長 ・教育委員会事務局学びの変革推進部豊かな心と身体育成課長
4	議 題	マイ・タイムラインを活用した防災教育に係る小学生用教材制作業務の企画提案内容の審査
5	担当部署	危機管理監みんなで減災推進課
6	開催方法	参集（Web 併用）
7	議事内容	<p>1 審査方法 提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>2 審査結果 (1) 審査対象者（提案書提出順） A社：TOPPAN 株式会社 B社：東光印刷株式会社 (2) 審査対象者の評価値 審査対象の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。 (3) 最優秀提案者及び選定理由 TOPPAN 株式会社（A社）</p> <p>3 各委員の主な評価・選定理由 (1) A社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の趣旨を十分に理解している。 ・ 教材制作に豊富な実績があり、体制の提案も十分である。 ・ 仕様書に基づいた分かりやすい提案となっている。 ・ 小学校で活用する学習教材に対する理解があり、児童の発達段階を踏まえた具体的な提案となっている。

		<ul style="list-style-type: none">• 45分で扱うには内容が多いが、各学校が実態に応じて活用できる構成だと考えられる。• コラムが充実しており、児童が災害を自分ごとと捉えるための支援となることが想定できる。 <p>(2) B社</p> <ul style="list-style-type: none">• 1ページあたりの文字数及び情報が精査されており、児童にとって分かりやすい構成になっているものの、本事業の趣旨の理解が不十分で、教材制作方針や内容への反映が十分でなかった。• 児童の関心をひきつけるキャラクター設定の評価は高かったものの、教育教材制作の実績及び体制の提案内容が十分でなかった。
--	--	--